

## テーマの設定理由

幼児が遊びの中で疑問に思ったことや分からないことがあった際、すぐに答えを教師に求める姿が見られることや、教師自身が園内の自然環境を理解しきれておらず、身近な自然を遊びに取り入れることが十分にできていないことが課題であると感じたため。

## 活動スケジュール

- ・月に一度 園内研究会  
(6月20日、11月20日、1月16日は研究保育実施、講師による指導・助言)
- ・プロ・ナチュラリストによるフィールドワーク  
幼児向け：9月8日、11月21日、1月27日  
教員向け：12月17日、1月20日、2月10日



- ・ペーパー芯で双眼鏡に見立てたものをつくり、幼児が探検に行くイメージで楽しく色を探せるようにした。
- ・見つけたものを並べる机を出し、色が似たものを近くに並べられるような環境を設定した。
- ・見つけたものを写真に撮って掲示をした。

活動事例

## 園庭での色探し



教師とともに園庭にある草花や樹木の様々な色を探した。草や木の葉を持ち寄り、机に並べてみると、緑色の葉が多くあることに気付く。「こっちには赤もあったよ！」と教師が紅葉した葉を見せると、赤やオレンジ、黄色など様々な色の葉や花があることに気付く姿が見られた。さらに、「こっちにピンクがあったよ。」などと自分の見つけたものを教師や友達に伝えたり教えたりする姿があった。

### 振り返りを踏まえた気付き

普段から身近な草花を遊びに取り入れる姿が見られているが、色に着目して探したり集めたりしたことで、同じ緑でも濃い・薄いや色が混じっているなど様々な気付きが生まれた。教師が視点をもって自然物を遊びに取り入れることで、幼児の経験が広がることが分かった。また、掲示をすることで、継続的に取り組める活動になることも分かった。